

進路先で挑戦を続けて

美深高等養護学校の卒業式

【美深】美深高等養護学校（大泉真哉校長）の第39回卒業証書授与式が7日、同校体育館で行われ、5学科の26人が学び舎を後にした。

来賓の草野孝治町長が祝辞。在校生代表が送辞、卒業生代表が答辞を述べた。

大泉校長が式辞を述べ「3年間の授業や行事で多くのことに挑戦し、成長している。それぞれに進路先で挑戦を続けながら、多くの人たちとつながりを持って、活躍してほしい」と呼びかけた。

全校合唱では式歌の「桜ノ雨」を歌い、卒業生たちはさまざまな思い出を振り返りながら学び舎を巣立った。

2024年度の卒業生は木工科5人、工業科2人、被服デザイン科5人、農業科6人、食品デザイン科8人。

式では、卒業生たちが保護者、教職員、来賓たちの温かい拍手を受けて入場した。

（中村）

大泉校長が式辞を述べ「3年間の授業や行事で多くのことに挑戦し、成長している。それぞれに進路先で挑戦を続けながら、多くの人たちとつながりを持って、活躍してほしい」と呼びかけた。

全校合唱では式歌の「桜ノ雨」を歌い、卒業生たちはさまざまな思い出を振り返りながら学び舎を巣立った。

食品デザイン科8人。

式では、卒業生たちが保護者、教職員、来賓たちの温かい拍手を受けて入場した。

（中村）

式では、卒業生たちが保護者、教職員、来賓たちの温かい拍手を受けて入場した。

大泉校長が式辞を述べ「3年間の授業や行事で多くのことに挑戦し、成長している。それぞれに進路先で挑戦を続けながら、多くの人たちとつながりを持って、活躍してほしい」と呼びかけた。

全校合唱では式歌の「桜ノ雨」を歌い、卒業生たちはさまざまな思い出を振り返りながら学び舎を巣立った。

国歌、校歌斉唱に続



大泉校長から卒業証書受け取った卒業生